

コンポストとは



家庭から出る生ゴミなどを**微生物**の力で分解し、**たい肥**に変えることを言います。たい肥として使えるだけでなく、ゴミを減らすことにも繋がりが、**環境にやさしい取組**です。

このパンフレットは

皆さんがコンポストを通して、食品リサイクルに意識を向けたり、環境意識を向上させるきっかけに繋がることが期待して作成しました！

ぜひ、エコ活動として、ご家族で取り組んでみてください♪



コンポストづくりから得られる気づき

- ・生ゴミの量が減る（食品廃棄物の削減）
- ・低コストでたい肥が作れる
- ・分解の様子が目に見えるわくわく感（人がよく食べる部分は分解がはやい）



コンポストをはじめるには？

- ①まずは風通しの良い場所を確保しましょう
雨や直射日光が当たらない場所がおすすめです
- ②次のページを見て
必要な材料を揃えましょう
家庭にある材料を代わりに使ってもOKです



材料

培養土セット 約900円（参考価格）

価格を抑えたい方におすすめ



匂い軽減セット 約1400円（参考価格）

匂い抑えたい方におすすめ



※ココヤシの実の皮を叩きほぐし繊維を取りだしたものを「ココピート」と言います。保水性や通気性等に優れているため、土壌改良材として利用されています。

作成方法

注意！
動物性の生ゴミや水分が多いと虫や匂いが出てくるので、投入量にはご注意ください。
生ゴミ投入後は、ネットを閉めることで、虫の発生を抑えることができます。

プランターに洗濯ネットをかけます。



1



2

資材を投入し混ぜます。全体量はプランターの半分かくらいがおすすめです。



培養土セット 匂い軽減セット



3

資材の真ん中に穴を掘り、生ゴミを投入します。投入したら生ゴミの上にふたをするように資材をかけます。



4

投入1日後、スコップで資材全体を混ぜます。投入した生ゴミが分解されるまで、できる限り毎日1回混ぜます。



5

③～④の工程を繰り返し、任意のタイミングで生ゴミ投入を止め、熟成（約1ヶ月）させます。熟成期間中は週に1回程度かき混ぜます。1ヶ月後、たい肥をふるいにかけ完成です。

コンポスト観察日記

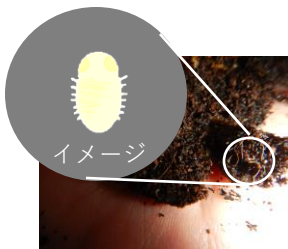


白カビ発生！

大丈夫！白カビは微生物が活発に活動している証です。

虫が発生しても大丈夫

生ゴミの分解を手伝っています。気になる場合は、生ゴミの投入を一旦止めるか、温度を上げて虫が生育できないようにしましょう。



生ゴミの分解が進まないなあ

米ぬかを入れましょう。微生物が活発になり温度が上がり、分解が進みます。

乾燥しすぎると微生物による分解が遅くなるため、少し水を足してみよう

たい肥が完成するのはいつ頃？

生ゴミ投入を止めて約1ヶ月の熟成期間を経て、手で握ってすぐ崩れるくらいのさらさらの状態になったら完成です！



たい肥を使った環境にやさしい農業！？

たい肥を使って化学肥料を減らしたり、天敵を利用して化学農薬に頼らないような、環境にやさしい農業のことを「環境保全型農業」と言います。

農林水産省では、私たちの食を支える農林水産業を守るため、「みどりの食料システム戦略」を通して環境にやさしい農業や食品リサイクルなどの取組を推進しています。

みどりの食料システム戦略について詳しく知りたい方はこちらから▶▶▶



沖縄総合事務局HP

環境にやさしい方法で栽培された農産物を選ぶには？

環境にやさしい農業に取り組む農家さんの野菜などを簡単に見つけられるよう3つの「認定・認証マーク」と「見える化ラベル」をご紹介します。



化学肥料及び化学農薬の使用量を **3割以上低減**

エコファーマー認定制度



化学肥料及び化学農薬の使用量を **5割以上低減**

沖縄県特別栽培農産物
認証制度



化学肥料及び化学農薬を **用しない**

有機農産物（有機JAS）
認証制度



生産時の温室効果ガス削減に係る取組をその貢献度合いに応じて★の数で表示

見える化ラベル
(みえるらべる)

お問い合わせ先：沖縄総合事務局農林水産部
TEL 098-866-0031

みどりの
食料シス
テム戦略

生ゴミが
消えた！？

環境意識が
向上した！

コンポストづくり
始めてみませんか

家族で
もったいないに
気づけた！

生ゴミの匂いが
気にならない！

